

雜 錄

●ルクサンブルグ國冶金工業概要

八月二十八日在アンヴェルス領事新山興次

一九二三年中ル國製鐵業はコークスの供給不足に依りて一大影響を蒙れり一九二三年一月ルール占領と共にル國冶金工業界には恐慌來襲し二月初より四月中旬に至る間はルール地方よりのコークスの輸入は全部杜絶したり爲に製鐵所は白國英國和國遂には米國に迄もコークスの供給を仰ぐの止むなきに至りしが英國市場は注文殺到の爲にル國の需要全部を満足せしむる能はず又米國コークスは船舶にて數回積換の爲毀損せられ品質不良となり大に製鐵所側の期待を裏切れり。

此コークス輸入杜絶の結果は多數の熔鑛爐の閉鎖となれりやがてコークス輸入の途も開け再び生産に従事し得るに至れる五月頃には、購買者の購入差控に依り鐵市場に危機勃發せり。

右數箇月間の工場閉鎖は生産量の激減を來し一九二二年の鑄鐵生産量一、六七九、三一八噸に對して一、四〇六、六六六噸となり即ち約十七パーセントの生産量減少を導き又鋼鐵生産量は一、三八七、九〇二噸より一、一九三、四七一噸となり約十四パーセントの減少を示せり。

斯の如き危機を經漸く八月以後購買者も經濟界の順調を信ずるに至りたるを以てル國工業界も前途の曙光を認め恢復の

緒に就けり價格も漸騰し斯くして市場平靜に年末に及べり。此平靜なる状態は一九二四年初數箇月間持續せしが急激なる法相場恢復の結果市場に於ては購買條件の轉倒を見るに至れり元來是等ル國生産品の輸出は外國貨を以て爲さるゝを以て法相場恢復に伴ひ夫と比例して輸出業者の受取る代價は減少するの結果を生ぜり而して生産費は殆ど變化なく爲に多數生産品の價格は生産費よりも低廉なるを以て現状は難局なりと云ふべし。

加之ルール占領に基く運輸の混亂は獨逸關稅地帯への輸送に大障礙を與へたり一九二三年末に於ける白國鐵道の混亂は頂上に達し延着が通常の状態たるに至れるを以ても知るを得べしル國のドーバー海峡對岸諸國への輸出は白國鐵道及アンヴェルス港に依らざるを得ざるを以て此混亂に依りて最打撃を受けたり。

一九二三年のル國冶金工業界を社會的見地より見れば平穩の中に經過したりと云ひ得べし賃金は絶えず昂騰し來れる生活費に應じて支拂はれたり一九二三年下半年に於ける生産の復活は失業者なからしめ却て以來職工の不足を感ずるに至れり是は一は八時間労働制にも依り又労働者の佛國への出稼にも依るものとす。

次に海外販路の問題はル國工業界にとりて常に緊急事なりとす關稅引上及輸入制限等に於て歐洲諸國に於ける保護貿易の傾向を見る今日其生産量の殆ど全部を輸出せざるべからざるル國工場に於て世界市場に於ける其獨立を維持せんが爲に大に努力の要あるは言を俟たず然るに某大國は自己に註文を受くる事を條件として借款國に前貸を爲しつゝある事實ある

が故にル國は國際的競争に於て下位に立たざるを得ず又隣國たる白國が一九二一年八月七日附法律を以て巨額の外國との取引に關しては自國工業者に對する支拂履行を保障する手段を取りて工業を奨励し始めたことは注意せざるべからず。

元より冶金工業の發達は技術及經濟問題如何に存するものなり戦前にはル國及ローレーヌ州は其半加工品をウエストフアリヤに輸送し同處にて精製せらるゝを常とせしが戦後此現象は漸減し來る傾向なるを以てヴェルサイユ平和條約第二六八條(ハ)號規定の無稅通過制度の期限終熄の頃には總てル國にて精製せらるべきを期待し得べし現にル國工場は仕上場を増築し日に々購買者に接近しつゝある傾向あり斯の如く縦横二方面の改良に依りて冶金工業の盛大に努力しつゝあり。

最後に注意すべきは一九二二年五月一日より實施せられたる白ル經濟同盟なり此協約が兩國に對して生産及勞働條件に關し對等の待遇を確保し隨て運輸の平等をも附帶し居れるは勿論なり故にル國工業者は自國工業者が享有する關稅率はアングヴェルス經由ル國生産品に對しても右協約實施と共に適用せらるべきものと信じたり然れども本問題は未だ解決せられず自國政府は右の如きル國側の解釋を排斥し自己の解釋に従て一九二四年一月一日以後ル國生産品には右關稅率より一割増の稅率を適用せり。

以上の如くル國冶金工業は地理的地位に基く不利に加ふるに偶然の政治的經濟的事件に左右せらるゝコークス市場の影響の下にありルル占領は之を證して餘りあるに非ずや。左の白、ル兩國生産量の比較は大に暗示する所あり。

白耳義

鑄鐵	一九一三年	一九二二年	一九一三年
鋼鐵	二、四八四、六九〇	一、六一三、一六〇	二、一八八、一三〇
鋼鐵	二、四〇四、七八〇	一、五三〇、四五〇	二、二一六、六五〇
ルクサンブルク			
鑄鐵	二、五四七、八六一	一、六七九、三一八	一、四〇六、六六六
鋼鐵	一、一九二、二二七	一、三八七、九〇二	一、一九三、四七一

白國がコークスの供給満足なりし爲一九二三年には鑄鐵三十六パーセント鋼鐵四十五パーセントの生産量増加を示したるに反し、ル國は外國コークス市場に左右せられ鑄鐵十七パーセント鋼鐵十四パーセントの生産量の減少を來せり。

熔鑄爐

熔鑄爐數	一九一三年	一九二二年	一九一三年
	四七	四七	四七

現に使用しつゝある熔鑄爐數

職工數	一八一二三	二七一三〇	二八一三三
原料鑄石	三、二三七	四、〇〇四	四、一八一

内地産	二、五六一、三六八	四、六八一、四一九	三、〇四三、〇七九
外國産	四八〇、〇六七	八二三、〇一〇	九一九、四三四
生産量			
Fonte de Moul.	七九、二二三	七九、六八六	三七、三八九
Fonte Thomas	八九〇、四三八	一、五九八、七六七	一、三六五、〇三〇
Fonte diffing)	六七五	八六五	四、二四七
合計	九七〇、三三六	一、六七九、三一八	一、四〇六、六六六

最近十二箇年間の生産量及時價左の如し。

一九一二年	一九一三年	一九一四年	一噸の平均價格
一九一二年	一九一三年	一九一四年	法郎
一九一二年	一九一三年	一九一四年	法郎
一九一二年	一九一三年	一九一四年	法郎
一九一二年	一九一三年	一九一四年	法郎

鍛鋼場

一九一五年	一、五九〇、七七三	七一・五九
一九一六年	一、九五〇、五一四	一〇五・五四
一九一七年	一、五二八、八六五	一一一・七三
一九一八年	一、二六六、六七一	二〇一・一〇
一九一九年	六一七、四二二	二五五・六九
一九二〇年	六九二、九三五	五五一・〇三
一九二一年	九七〇、三三六	二四六・五七
一九二二年	一、六七九、三一八	二一七・七四
一九二三年	一、四〇六、六六六	三九五・七九

職工數	一九一三年 一、二一三	一九二二年 一、六三二	一九二三年 一、八九八
生産量	七	七	七

Acierb (ling)	七五〇、九七四	一、三八七、九〇三	一、一九三、四七一
Acier coulé et au four électrique	三、〇九八	六、〇七〇	七、七一一

最近十箇年間の Acier brut. (lingots) の生産量と時價左の如し。

生産量	一九一四年 一、一二八、七九一	一九一五年 九六七、八二一	一九一六年 一、二九六、四〇七	一九一七年 一、〇五三、五九六	一九一八年 八五七、九三七	一九一九年 三三六、二三一	一九二〇年 五六九、五四五	一九二一年 七五〇、九七四	一九二二年 一、三八七、九〇二	一九二三年 一、一九三、四七一
一噸の平均價格	六八・三五	一一五・七〇	一九二・六一	二二二・六一	三八四・〇〇	七五五・三七	二九二・七三	二六九・〇一	四八六・三〇	

Acier coulé et au four électrique の生産量左の如し。

一九一四年	七、七〇四
一九一五年	一二、五六三
一九一六年	一五、一五五
一九一七年	三三、一二六
一九一八年	二九、七一二
一九一九年	三、一八五
一九二〇年	一五、四二三
一九二一年	三、〇九八
一九二二年	六、〇七〇
一九二三年	七、七一一

伸金機

伸金機數	一九一三年 五	一九二二年 五	一九二三年 五
職工數	二、五六三	六、三二八	三、七〇八
生産量	二二一、二二二	四八五、三一五	二九六、五二五
Demi-Produits	九九、一八九	七九、二九四	五九、〇七九
Matériel Fine de Voie	一〇二、〇五八	一九七、四七二	一七六、七七五
Poutr. et gros prof.	一一二、二八六	三三二、一一二	三三九、二三三
Parrés et p. prof.	五一、八一九	六七、六四六	八三、三〇〇
Fil Machine	一一、五八五	三一、七一三	四三一、二一五
Bambouges	六、九一七	三〇〇	一七五
Tôles	五二七	三、四九〇	四、八〇〇
Palanques	八四、四二五	一三九、九八八	一一〇、三〇二
Cantes	一九一三年 一〇	一九二二年 一〇	一九二三年 一一

鑄物工場

現に使用しつゝある機械數	一九一三年 七一四	一九二二年 八四〇	一九二三年 九二八
職工數	七一四	八四〇	九二八
原料	七一四	八四〇	九二八

鑄鐵	九、二四四	二〇、九一〇	一三、五五六
古鐵片	八、五七四	一八、三二五	一三、二六二
生産量			
Poterie	一九一	一七三	四二三
Fuyaux	七二	—	二四
Machines	二、九二〇	一、九五七	四、〇八九
Acier Coule	一、二二六	九八〇	一、三九二
Fontes Pour bathnets	一〇九	二、〇五四	二、二三七
Fontes spec. bir	一一、五七九	二一、三三二	一五、〇〇七
合 計	一六、〇九七	二六、四九六	二三、五七二

●白耳義國炭礦及冶金工業の趨勢

九月十一日在アンヴェルス領事新山興次

目下白耳義國炭礦業は危機に在り就中外國との競争に關し絶望的悲觀説をなす者あり確に獨逸英國及佛國より白國へ輸出増進の傾向ありて白國炭礦業を壓迫しつゝあるは事實なり然れども斯く悲觀すべきものにも非ざるが如し蓋し戰前既に白國炭礦業は此等石炭國と競争し對抗し來れる歴史あり且又他方にては白國の輸入石炭は主として白國に生産せざるか又は生産するも不足不充なるものゝみに關するを以て自ら別問題たるを以てなり勿論若干の白國石炭業者にして目下危機に瀕しつゝあるは隱蔽すべからざるも悲觀すべき性質のものには非ざるべし現狀は異例にも非ず斯く重大なるにも非ず又恢復すべからざるが如きものにも非ず努力の結果は復活し得る希望あればなり或は炭礦業者の企業組織變更採掘方法を改め僅少の利益配當に満足し生産費を輕減せしむる等の手段を取る必要あるべし、されど是單に經濟的問題なるを以て適合宜しきを得ば解決せらるべく絶望的悲觀論者の主張するが如

く難治の病態には非ず。

事實白國炭礦業は休戰以來餘りに多額の利益に慣れ益々貪慾の風潮を有するに至れるを以て一旦不景氣の襲來するや恰も一大危機突發せるが如く過大視せる傾向あり由來なき不安状態に陥りたりと云ふべし、今一例としてヘーノール縣炭礦業團體の一九二三年の統計を點檢するに四十九個の礦山利益計一七〇、四〇三、六〇〇法を示し損失礦山は十二個にして二八、七九五、〇〇〇法の缺損をなし結局ヘーノール縣全體より見れば利益一四一、六一二、六〇〇法なり、價格は噸當り一〇三法六二仙なりき總經費噸當り四九法七八仙なりしを以てヘーノール縣全體として見れば噸當り八法八四仙の利益を得たるなり然るに一九二二年度にヘーノール縣にては利益礦山三十七個損失礦山二十三個ありき且一九二三年は一九二二年に比し生産量一、〇〇四、九七〇噸五二七、二〇二、五〇〇法を増加せり據りて見るも逐年進歩しつゝある狀況を知り得べく又他地方の炭礦業の狀勢を檢するも概ね好況に向ひつゝありと判斷し得るが故に前述の誇大せる悲觀説は當らず恢復進歩の兆ありと云ひ得べし。

次に冶金工業を一覽するに一九二四年七月中運轉熔礦爐數四十九箇全白國の生産量鑄鐵二四七、三八〇噸鋼鐵二三一、四九〇噸なりき之が地方別左の如し。

地方別	熔鑄爐數	鑄鐵	鋼鐵
ヘーノール	二〇	一〇九、三八〇	一〇一、一八〇
リエージュ	一九	九八、二四〇	一〇九、二三〇
其他の地方	一〇	三九、七六〇	二八、〇八〇

一月以來の白國生産量

一月	四一	二〇八、九八〇	二二四、六七〇
二月	四二	二〇五、九三〇	二一九、一六〇
三月	四五	二三〇、四九〇	二三四、一七〇
四月	四七	二三九、五三〇	二三三、六三〇
五月	四七	一四六、五二〇	二四三、五四〇
六月	四八	二三六、七三〇	二二八、六四〇

一九一三年には運轉熔鑛爐數五十四箇を以て一箇月平均生産量鑄鐵二〇七、〇五八噸鋼鐵二〇〇、三九八噸なりしに比すれば現在の状態は大に進歩したるを證明し居るに非ずや是大部分機械の近代化に由來するものとす之を要するに最近白國炭鑛業及冶金工業は漸次順調に進行しつゝありと斷ずべきか。

●濠洲の製鐵業

(七月三十一日在シドニー總領事鈴木榮作)

濠洲に鐵鑛地著しきは特に傳へらるゝも其開發及製鐵業も未だ充分ならず最良質の鐵鑛ありと云はるゝはニュー・サウス・ウェールズ州にして Cadia に千萬噸 Carcoar, goulburn, queanbeyan に約各百萬噸 Wingells に於て aluminous ores を約三百萬噸今日全ニュー・サウス・ウェールズ州に於て千五百萬噸餘を利用し得べき状態なりと云ふ各州の分を加ふれば蓋し想像以上なるも未だ開發至らず。

今日に於てニュー・サウス・ウェールズ州に於ける製鐵業は僅に有力なるものとして Lithgow Iron Works 及 New-castle Iron Works に止まり他に多少の工場あれども微々たり前者は Hoskins (Eskbank) Iron and steel Co., Ltd. 後者は The Broken Hill Proprietary Co., Ltd. の經營する所なり後者は

主として原料たる鐵鑛を南濠洲より求むニュー・サウス・ウェールズ州の銑鐵産額左の如し (單位噸)

年次	ニュー・サウス・ウェールズ州の鐵鑛より	其他濠洲産鐵鑛より	合計
一九一五	七六、三一八	六六、六六二	一四二、九八〇
一九一六	五二、五五六	七二、〇三五	一二六、五九一
一九一七	四五、〇二五	一〇二、三九四	一四七、四一九
一九一八	六八、〇七一	一三八、八七三	二〇六、九四五
一九一九	八〇、九四一	一五二、七五四	二三三、六九五
一九二〇	九四、三八四	二五一、四一六	三四五、八〇〇
一九二一	九九、七九〇	二六六、七五九	三六六、五四九
一九二二	六六、一四一	二三五、一六六	三〇一、三〇七

右生産額を爲すに對し一九二二年に於て四八六、一八五噸の鐵鑛を要し内一二二、七一噸はニュー・サウス・ウェールズ州の生産に係るものなり次にニュー・サウス・ウェールズ州の鐵産額左の如し (單位噸)

Steel	一九二〇年	一九二一年	一九二二年
Steel Rails	四二、〇三二	五〇、一五一	三一、一八三
Steel Bars and Section	五四、一二〇	四一、三五三	九〇、五四四
Steel Plates	一三三、三七三	一〇二、二九一	七三、四九八
Steel Billets	四、四一七	一、八五六	八〇
	三四、四七一	三六、〇一四	一六、八八八

抑々ニュー・サウス・ウェールズ州製鐵會社中の第一たる Broken Hill Proprietary Co., は一九一五年より事業を開始せるものにして戰爭に基く鐵材の輸入意の如くならざりし時代の發生に係る同社は南濠洲 Iron Knob quarries より採掘せる鑛石を主として使用するものにして一九二一年度を使用せる量は四六三、五七八噸に達せりタスマニア州 Devonport に

於ける Limestone works and Loading bin 及 ニューサウス・ウェールズ州に於ける Dolomite, magnesite 等の鑛石地は同社の所有する處なり一九二一年に採掘せる石灰岩は九五、二六八噸なり製鐵工場は平均一日一、二〇〇噸を生産する Blast Furnaces 及一〇〇噸の Foundry iron を生産する fourth furnace を所有し一九二一年二六二、三一二噸の銑鐵を生産せり又 65-ton open hearth furnaces を有し一週約三、四〇〇噸を生産す一九二一年の實産額は二五五、四三七噸なり又同工場は 28-in Bloom & rail-rolling Mill を有し一日平均 finished Rail 五十噸を取扱ひ得又 Merchant steel 製造の爲に 18 inch, 12 inch, 8 inch Mill 及 Wire rod 製造の爲 Rod Mill 等あり一九二一年各 Mills より生産額左の如し。(單位噸)

Rails	七九、五二五
Billets & Blooms	九、二八六
Fish Plates	二、四七五
Structural Steel	二〇、一六二
Round and Octagon Steel	一九、八六五
Flat Steel	二四、六〇八
Plates	九五〇
Square Steel	一、五九一
Rods	三一、一七
Rable Bars	九九六
Locking Bars	九九三
Miscellaneous	一、一八八
計	一九二、七五六

又同會社は自ら使用の爲の Coke を生産し一九二一年に於て二五六、八九九噸を生産せり一九二一年に産出せる tar 及 sulphate of ammonia は前者二、五六一、七一八ガロン、後者

四、〇八一噸に達せり以上は一九二一年の成績なるも現在は市況不利の爲活動力減少せりと云はる。

ビクトリア州に於ては特に Nova Nova 及 Dookie に鐵鑛多し、又製鐵事業も古く Lat Lat 地方に設立せられ truck wheel & stamper shoes 製造に従事したるも事業不況の爲閉鎖せりクイースランド州に於ては金銅等の鑛石と共に鐵鑛多くロックハンプトン地方の Iron Island を最著名とす一九二一年には四、〇六一噸を採掘したり而も豫想のみ多くして實際は放任の形にあり。

南濠洲は前述せる如く Iron Knob 地方を第一とし現にニューサウス・ウェールズ地方に製鐵の爲送られ居れり現實に見得る鐵鑛は二千百萬噸と見積らる一九二一年に採掘せるもの五〇六、九九三噸價格五八七、二六七磅に達せり西濠洲及ノーザンテリトリに於ては多額の鐵鑛ありと云はるるも何等利用なくタスマニアに於ても四千二百萬噸ありと見積らるるも何等利用なし。

現在に於ける濠洲製鐵事業は前掲二會社の外ニューキャッスルに於て Australian Nail Co., Ltd., (棒鐵工場と鐵線工場) John Rysaght Ltd., (黒鋼鐵板及亞鉛引鐵銅板製造) Rylands Brothers (鋼鐵製造) Federal Iron steel Co., (車輛彈機鑄鋼) 等あり、ホスキエス會社は port Kembla に新工場あり、尙ビクトリア州には Iron Rolling mills proprietary Co., 及 Victoria Iron Rolling Co.: Ltd., ありて棒鐵製造に従事す是等は何れも規模少なる爲政府に對し保護を求むる事多し。

是等製鐵關係事業所謂 Engineering works Iron works and foundries に關する全濠を通じての工場數雇傭勞働者生産力設

備等の統計を示せば左表の如し尤も右の内には本来の製鐵業の外製釘 Safe, patterns Meter, springs を包含するも Railway workshops Sgricultural implements factories Cyanide, smelting pyrites, Metallurgical works, Galvanized iron works, Stone

製鐵關係諸工場統計一九二一—二二年

工場數	ニューサウス・ウェールズ		ヴァイクトリア		クイーンズランド		南濠洲		西濠洲		タスマニア		全濠洲
	(一九二一—二三年)	(一九二二—二三年)	(一九二一—二三年)	(一九二二—二三年)	(一九二一—二三年)	(一九二二—二三年)	(一九二一—二三年)	(一九二二—二三年)	(一九二一—二三年)	(一九二二—二三年)	(一九二一—二三年)	(一九二二—二三年)	
雇備人數	一三、八八五	一〇、九〇六	一一、五九一	二、三一七	一、八〇五	一、九九一	一、〇八〇	四四八	三一七	三〇、六二八	五一、八〇七		
使用機罐の實馬力	三三、九九六	一一、五九一	一一、五九一	二、三一七	一、八〇五	一、九九一	一、〇八〇	四四八	三一七	三〇、六二八	五一、八〇七		
土地及建物の評價格	二、四三〇、九九九	一、一八〇、六八五	二、一七、五六五	二、二七、五六五	二、二七、五六五	一、八三、五二五	一、四二、四二五	四一、八一五	四、一九七、〇一四	五、九三三、六六七	六、二六五、五九九		
工場及機械類評價格	三、八三四、一一二	一、四一三、三五五	二、六三、二三七	二、六三、二三七	二、六三、二三七	二、三二、八六六	一、三二、八六六	五二、二〇八	五、九三三、六六七	六、二六五、五九九	六、二六五、五九九		
本年中實銀支拂總高	二、九一九、二四五	二、一八八、〇九五	四六五、八五九	四六五、八五九	四六五、八五九	三、八八、二八五	二、一六、八九五	八七、二一七	六、二六五、五九九	六、二六五、五九九	六、二六五、五九九		
使用燃料價格	三三四、九九七	二〇四、八二一	二四、五一七	二四、五一七	二四、五一七	三、八、一九二	一、五、一四六	五、六〇〇	六、二六五、五九九	六、二六五、五九九	六、二六五、五九九		
使用原料價格	七、六二〇、五三六	二、七〇九、九五二	二四七、〇六二	二四七、〇六二	二四七、〇六二	六、二九、九八九	二、三六、二四四	六〇、〇六一	七、二七、四〇七	七、二七、四〇七	七、二七、四〇七		
産出總價額	一、二〇一、〇〇〇	六、三二九、五〇三	一、一五〇、九九五	一、一五〇、九九五	一、一五〇、九九五	一、二四〇、七八二	五、四四、八一	一九一、五〇四	二、四六八、五九五	二、四六八、五九五	二、四六八、五九五		
加工價額	四、三九〇、四六四	三、六一九、五五一	六八〇、三七〇	六八〇、三七〇	六八〇、三七〇	六、一〇、七九三	三〇八、五六七	一、三一、四四三	九、七四一、一八八	九、七四一、一八八	九、七四一、一八八		

右は濠洲製鐵業の一般なるが濠洲政府は目下當地の製鐵業及右關係事業の發達を計らんと欲し、一既に Manufactures encouragement act 1908—1914 を發布して一九〇九年一月一日來製鐵及製鋼を濠洲産鐵鑛より爲せるものは一九一四年六月に至る迄 pig iron puddled far iron, and steel に對しては一噸に付十二志 Galvanized sheet or plate wire netting, wire iron or Steel pipe and tube に對しては其價格の十%の補金を與へ合計一七三、六七一磅を支出したり、二更に The Iron Buntty act 1914—1915 を發布して右 encouragement act を廢止し濠洲産 pig iron に對し一噸に付八志合計六萬噸内の補

and oven making works, Wireworking establistment を含まざる故不正確なるを免れざるも濠洲製鐵業の大要を知るに足らん。

助金を與ふる事となし實際に於て一九一五年には一九、八〇八磅一九一六年には二四、四六五磅一九一七年には一一、五四磅を支出せり、三次に The Iron & steel Bounties act 1918 を發布して一九二三年九月三十日に至る迄 Black steel sheet 及 galvanized sheet に對し補助金を二十萬磅の範圍内に於て支出すること、なし外國産殊に英國より來るもの、運賃如何により一噸當補助金を上下し一噸に付運賃二磅十志の場合補助金 black steel 一噸當一磅十志 galvanized sheet 二磅なるも運賃右以上なる時は補助金を遞減したり一九二一年末に至る右補助金支出は實際上 galvanized sheet に對する

五、一五〇磅に過ぎず、四更に一九二二年に至り Iron steel Bounties act を發布せり抑々濠洲に於て産業保護政策は戦後來政府の多大の注意を拂ふ所にして一九二〇—二二年新關稅法制定に際し關稅壁を高くして國內幼稚産業保護主義を確立し戦後の經營に應じたるが一方當地に於ける fencing wire, galvanized-sheet, Traction engine, wire netting 等は牧場家屋土木等に必要不可缺なる鐵材にして其高價なるは當地消費者の堪へざる處なり從て妄に關稅を高くする能はず而も一方鐵材工業に従事するものに對しては外國品の競争に堪へ國內に於ける重要産業たる地位を確保せざるべからず是當地に於ける補助金制度による保護政策を發生維持せる所以なりとす。

一九二二年の本保護法によれば保護を受くる目的たる鐵材は Fencing wire, galvanized sheet, Traction engine, wire netting の四者にして(第二條) fencing wire とは No.8-14 のゲージを有するもの wire netting と共に牧場區劃兎害 Rabbit pest 防止の爲に盛に需要せらるゝものにして galvanized sheet は田舎都市を通じ Roofing に使用せられ Corrugated sheet 是と否とを問はず若し之が安價に製造せらるゝ時は目下 back, Hissian 等の使用を見居るもの驅逐せらるゝに至るべし更に Traction engine とは Tractor と稱せられ耕作の爲に重要な機具なり右四者に對し一九二二年九月十四日より濠洲産なる時に限り一箇年二五〇、〇〇〇磅を限り fencing wire & galvanized sheet は一噸當工場十二志 Traction engine は一箇に付形體により四十磅乃至九十磅 Wire netting に對しては三磅八志を支拂ふ事と定む(第三條)而して製造材料

は一定の品質を有し且濠洲に於て生産せる原料に加工せる場合なるを必要とし外國より輸入せる材料に加工せる場合は特に大臣の許可を得たる場合に限り又生成品の賣買に當りては賣價より補助金額の一部又は全部を割引安價にて賣買するを得ず(四條)而も右の賣價に關稅委員會の相當と見做せる額にして不當高價なる時は又補助を廢止せらる(八條)之一方に於て相當なる生産者を保護し補助金本來の目的を達成せしむると共に一方消費者の立場を考慮し製造業者をして不當の利益を收めざらしめんとする意思に出づ又製造所が十五%以上の利益を得たる場合は補助金の一部又は全部を廢止する事を得と(第九條)せるも又同様の趣旨に出づ。

右の如くに消費者及製造業者を保護すると共に所謂濠洲の新保護政策に(New protection policy)に基き勞働者保護の條項を置き補助鐵材製造關係勞働者に對しては裁判所をして賃銀及勞働條件に付一定の判決をなさしめ右判決に順應す勞働狀態を保持せざる製造家には補助金の一部又は全部を廢止し得る事とせり(一〇條)右の如くにして一九二三年—二四年の補助支出高は一〇一、七四一磅に達せり。

濠洲政府が製鐵材殊に當地に於て必要なる鐵材に對し如何に注意を拂ふかは右補助金制度の説明に於て明白なる新關稅法より受くる保護は從て之を低下し wire に於て特惠稅率無稅一般稅率10%を課し galvanized sheet 特惠二十志一般三十志(每噸) traction engine は一般10%特惠無稅となし以て一般消費者を保護せり是れ前掲商品が當地に於ては不可缺のものなればなり將來關稅を變更して保護政策を採り其稅率を高くせる場合は從て相當補助金を遞減する事と定めたり(第三

條)而して今日に於て wire netting に關しては聯邦政府は國內産業保護に急にして濠洲産業保護法(ダンピング法)に基き英國より來るもの時價より廉價なりとして同法第五條に基くダンピング稅率を課し補助金の外に關稅による保護を加へ居れり而も一面に於て wire netting の需要著しく消費者側の不平盛なり是今議會に於て輿論に於て wire netting 課稅問題の批評盛なる理由なりとす。

●蘭領印度石炭狀況

(八月二十二日在バタヴィア總領事井田守三)

概況 蘭領印度の炭礦は全部スマトラ及ボルネオに存在すと云ふ可く瓜哇スカブミ一小炭坑あるも産額僅少にして擧ぐ可き程のものにあらず。

スマトラ炭礦は重に西海岸タナーダタル、ソロクク、アハムの諸地方には集中し居り南部パレムバンク州には政府の採掘し居る炭礦あり又ボルネオ島炭礦は東海岸に注ぐクローター河に沿ふサマリダ地方を中心として同海岸線處々に散在し又南岸ペンガロン及バングカランプ地方にも炭礦あり一九二二年の總産炭額は百三萬二千噸を數へ中六十五萬九千噸はスマトラより三十七萬三千噸はボルネオより採掘せらるる之を経営者別に見れば政府所屬の炭礦より七十七萬噸民間會社の炭礦より二十六萬二千噸を産出する割合となる。

政府所屬炭礦の現状 上述の通り總産炭額の四分の三弱は官營炭礦より採掘され居る結果當領市場は政府に依りコントロールされ居るとも言ひ得べきを以て茲に政府所有の三大炭礦に付概説す可し。

オムビリン炭山 一八九二年採掘に着手せられスマトラ島内風景の秀麗を以て有名なるバダン高原サワトルントに在り坑區は縦十基横九基米の延長を有し炭層は場所に依り相違あるも最厚き箇所は十二米に達す政府の見積に依れば露出炭量は二億メートルリック噸に上り、中一八九二年より一九一九年迄の採掘高は七、二九一、四二五噸とのことなり尙石炭は其一半を官營鐵道其他に消費し殘部は民間に拂下げバダン州エレマハーフェンにて船舶に供給し又は同港より商品としてバタヴィア、スラバヤ及マカッサ等に輸送せらるる就働坑夫は總數九、三九六人にして囚徒並契約勞働者及所在地方傭入者の三種より成り中半數強即ち四、八二五人は囚徒なり最近四年間の生産額は一九一九年五一〇、八二一噸一九二〇年五六七、一四二噸一九二一年六〇二、八五三噸一九二二年五四四、〇〇二噸なり。

プル・ラウト炭山 ボルネオの南東角に位するプルラウト島のスターヘン地方に在り領政府は夙に地質調査並採掘目的を以て同島全部を其手に保留することを聲明し一九一三年以來採掘に従事し居れり産出炭は右スターヘンより分送せらるるがプルラウト島が日本支那南阿濠洲及瓜哇との直通航路に當り居る爲輸出上殊に便利なり就働坑夫は主として瓜哇契約勞働者にして平均二千二百人を使用す産額は一九一九年一八〇、二五九噸一九二〇年一八八、七七二噸一九二一年二〇八、九〇〇噸一九二二年一一三、二一八噸なり。

ブキット・アセム炭山 スマトラ島パレムバンク州タンジマング地方に在り一九一五年蘭領印度政府が探險の結果發見せるものなり同炭山は三重の礦脈を有し第一層は六乃至七米の

礦床二箇より第二層は三乃至八米の礦床二箇より第三層は六乃至八米の礦床より成る炭質佳良にして含有灰分は一乃至三パーセントの間に在る由なり、尙政府は一九一九年同一地方に在る私有レマタング炭礦を買收して其地域を擴張せり産額は一九一七年九、七六四噸一九一八年五〇、三〇〇噸一九一九年一〇六、八八一噸一九二〇年一四一、六一八噸一九二一年一七二、九三九噸一九二二年一一三、四八一噸なり。蘭領印度總産炭額 政府所有炭礦概要は右の如くなるが更に當領石炭業の全般を通觀する一助として各炭礦名經營者及其産額を示せば左の如し。

炭 坑 名	經 營 者	單位噸 (千基瓦)	
		一九二一年	一九二二年
Onablin mines-Sumatra	Government.	六〇二、八五三	五四四、〇〇二
Bukit Asem mines Sumatra	"	一七二、九三九	一一三、四八一
Pulu Laut mines-Borneo	"	二〇八、九〇〇	一一三、二一八
Bukit Durian-Sumatra	Kinandang Sumatra Mining Cy.	二五〇	二八〇
Pulu Pangung etc-Sumatra	Natives	一、二〇〇	一、六二〇
S. and E. Division, Borneo Concession-Borneo	Um Agric and Mining Cy.	七、四一〇	七、〇一三
Du un countrie-Borneo	Natives	二二、四五六	二五、〇〇〇
Gunung Kupangl-Borneo	South Borneo Mining Cy.	一八、三五六	一九、二八〇
Rism K wa etc.-Borneo	Natives.	三、二八七	一、七六七
Gunung Batu Besar-Borneo	Mining and Commercial Cy.	一五、五九五	二八、二五二
District Pasir Borneo	Natives	一、七一三	—
Concessions-Borneo	East Borneo Company.	六二、三九四	八二、一一二
Ua Bukit-Borneo	Pang Mangku Negro.	二四、七二四	一五、八九一
Tuejan-Borneo	Borneo-Sumatra Commercial Cy.	七、八五二	五、五八一
West Kutai-Borneo	Natives	一〇、六六八	一、七八四
Parepasean Borneo	Mining Cy, rarpukarn Ltd.	四三、四五六	六一、二二七
Rantap-Pandjang Borneo	—	七、四一二	一一、三〇〇
Barju Irang-Borneo	J. A. Lehr.	—	—
Sakabumi-jawa	A. J. Vrasnik.	—	一一九
合 計		一、二二二、六六五	一、〇三一、九三六

一九二三年の産額は未詳なるも官營炭山中オムピリン坑は ウト坑は一〇〇、六二九噸を産出せり。市況 外國炭中、イ英國カヂフ炭は一九二三年瓜哇渡一噸五一三、三一二噸ブリット・アセム坑は一七六、一八六噸ブルラ

に付二磅四志乃至三磅の間を高低し同年六月頃は最高三磅を呼びたるが年末には二磅五志に低落す尙同炭は濠洲炭に比し割高なりし爲賣行面白からず輸入額も少量に止まりたり、濠洲炭は一九二三年初頭瓜哇渡一噸に付二磅一志六片なりしが九月頃には一磅十八志に低下し年末迄は一磅十九志の相場を持続せり尙一九二四年に入り二磅五志に騰貴したるが右は濠洲産羊毛及穀類の輸出季節に入り一時船腹の不足せし爲と推測せらる、八本邦炭の一九二三年輸入は濠洲炭程の活躍を示さざりしが當市場にては日本政府が採掘を制限し其大部を自國用に充てたる爲と推測し居れり本邦炭の價格は上等品に就ては濠洲産と大差なし、二、ナタル炭の瓜哇渡相場は一九二三年十一月頃迄は一磅十志なりしが其後賣行思はしからず年末には一磅九志に低下せり。

蘭領印度産石炭は大部分官有炭礦より供給せらるゝものにして一九二三年に於ても政府は從來と同様定期航路並臨時傭船に石炭を供給せり尙一九二三年及一九二四年の瓜哇渡政府石炭の價格左の如し。

炭名	契約に基く定期供給 (ケルデン)	臨時供給
Ombilin Coals	一八・五〇	二〇・五〇
Stagen Coals	一六・〇〇	一八・〇〇
Leimatang Coals	一八・五〇	二〇・五〇
炭名	契約に基く定期供給 (ケルデン)	臨時供給
Ombilin Coals	二〇・〇〇	二二・〇〇
Stagen Coals	一七・〇〇	一九・〇〇
Leimatang Coals	二〇・〇〇	二二・〇〇

一九二一年乃至一九二三年外國産炭の當領輸入額左の如し

年 度	英國炭	阿弗利加炭	濠洲炭	日本炭
一九二一年	六九、〇〇〇 噸	—	二八、〇〇〇 噸	一〇三、〇〇〇 噸
一九二二年	四三、〇〇〇	—	一五、〇〇〇	五二、〇〇〇
一九二三年	一一、〇〇〇	二一、〇〇〇	六七、〇〇〇	五九、〇〇〇

●伯國ミナス州鐵工業概況

(七月二十二日在リベロンプレト副領事早尾季鷹)

鐵はブラジル鑛産物中最重要なるものにして世界如何なる國と雖伯國の如き豊富なる鑛層を有するものなし伯國の鐵鑛は概ね酸化物にして炭酸鐵鑛は極めて少く通常炭酸カルシウムと結合して現出す而して鐵の主産地たるミナス・バイア、ゴヤス、マツト・グロツソ、サン・パウロ、サンタ・カタリーナ及リオ・グランデ・ド・スールの諸州中初四州の鐵鑛は主として赤鐵鑛より成り其他の三州には概して磁鐵鑛の存在するを見るミナス州を除き他諸州にては未だ鐵鑛専門家により眞面目に研究されたるものなきも同州にては既に凡ゆる含鐵地帯の踏査を遂げ一方ゴンザガ博士指導の探鑛隊と相俟て各種鑛石の調査を了したるもの尠からず今日迄の地質調査に依ればミナス州の含鐵地帯(其中心地たるイタピラはリオ・ヂャネイロより鐵路七百基を隔つ)は五千七百平方基の面積を覆ふと稱せらるゝも尙同州の東北及東南部にも鐵を發見せることあるを以て實際右面積は優に其二倍以上となるべし而して鐵の埋藏量は地質學者の意見區々にして適確なる數字を擧ぐることを得ざるも前顯ゴンザガ博士等の說に従へば單に露出部分より測定し最少限度二十億噸に達すべしと云ふ。

又ミナスには天然鐵屑の鑛層無數に散在し往々容易に採取し得べき五十パーセントの鐵を含有するものを發見する。

とあり尙外に同州には五乃至六米突の厚さを有し數哩の地面を覆へるカンガと稱する粘土質鐵蠻岩の存在するあり學者の調査に依れば右カンガのみにても一億噸の鐵を供給することを得べし。

ミリーナス州産鐵鑛石の主として赤鐵鑛より成ることは前陳の通りなるが彼の同州東南部に位するイタバラ・ド・カムポ山及イタバラ・デ・マツト・デントロ山の如きは全山殆ど良質の赤鐵鑛より構成せられ又カラサ山脈の横腹の如きも赤鐵鑛の厚層を以て覆はるゝ状態にして是等鑛層は東北エスピニャン山脈に跨り其延長實に數百基突に及び右の外粒狀赤鐵鑛より成るカクンダ山脈及コンセイソン町近傍のフェルデーエン及オロ等の諸山脈も鐵産地よして其名著る某専門家の二百種の標本に付分析せる結果によれば鑛質は鐵六九・二% 硅酸〇・八% 硫黃〇・一八% なり。

製鐵業 本州には四箇の重要製鐵所あり其銑鐵生産高一年二萬噸と稱せられる最古きはイタバラ・デ・カムポのエスペランサ製鐵所にして一八八八年の創立に係り現今ケロス・ジュニール會社經營の下に三箇の熔鑛爐により一日約三十五噸の銑鐵を生産しつゝあり其使用職工四百人彼のミゲール・ブルニエールのウイグ分工場は同製鐵所の第三熔鑛爐にして其製造高一日十二噸を超ゆ第二はジュイス・ダ・フォーラ市の伯刺西爾電冶製鐵會社所屬工場にして前記エスペランサ製鐵所の製品を鋼鐵に變化するを目的とし一日十乃至十二噸の生産能力を有す。

第三はミリーナス冶金會社の後身たるベルガ・ミネーラ冶金會社にして日々銑鐵二十四噸を製出するサバラ工場(ベロオリゾンテ近傍)は同會社の所有に屬す本會社は一九二一年

佛白のシンディケイト及右ミリーナス冶金會社間の協定により成立せるものにして將來年々四萬噸の製造能力を有する製鋼所を設立する計畫なりと云ふ。

第四は Gerspacher & Giannetti 會社所屬の製鐵所にして最近伯刺西爾中央鐵道リオ・アシーマ驛近傍に熔鑛爐を設置し一日十噸の生産を爲しつゝあり。

尙是等の外英米佛白等の會社にして本州に莫大なる鑛區を買入れ既に聯邦政府の營業認可を得たるもの若干あり彼の Habira Iron ore Company 及 Anglo-Brazilian Iron & Steel Syndicate の如きは是なり。

滿俺 産地としてはミリーナス、バイーア及マツトグロソンの三州著るゝも古來最廣く知られ且大規模に採掘の行はるゝをミリーナス州とす本州の鑛層は割然たる二箇のタイプをなし各異りたる二地方に現出するを特色とす即ち一は伯刺西爾中央鐵道に沿ひリオ・デ・ジャネイロより東北約五百基を去るミゲール・ブルニエール驛を基點として同驛より東方オロ・プレートに向ふ廣袤十哩の地帯にして他は同じく右鐵道に接するケルス地方(ブルニエールより南方十哩)を中心とする層なり地質はブルニエール鑛層の附近には交互にイタバラ岩片石灰片岩等發見せらるゝも就中イタバラ岩最豊富なり而して鑛層自體は大部分酸化滿俺より成れるが其主成分は滿俺五〇・% 硅酸〇・〇二% 磷〇・〇五% なり。

ケルス鑛層はモロー・ダ・ミリーナ坑を以て著名にして其包藏量千萬噸と稱せらる同鑛層は千餘米の山嶺及山腹に扁桃狀の巨塊を成して露出し伯國中重要なるものとすケルス滿俺分析表は滿俺四八—五五% 鐵三一—五% 硅酸三一—四% 磷〇・〇三

一〇〇四%なり。

採鑛會社 目下ミィナスに於て滿俺採掘に従事せる會社十あり其資本金總額千三百八十萬ミルレイスに達す由來本州の滿俺採掘業は一八九四年に始まり一八九七年に至り稍旺盛となり其後漸次發展の域に向ひたるが歐戰中は左表の如く特に著しき活況を呈したり。

戰時及戰後滿俺の州外移出高

年次	數量	價額
一九一五年	九九四、〇七八	二二、五五七
一九一六年	四五二、一五四	四五、二二〇
一九一七年	五七二、四〇六	三五、五三七
一九一八年	三六六、三六二	二二、五〇〇
一九一九年	三二一、四一二	一四、〇〇〇
一九二〇年	—	—
一九二一年	二五七、六四一	—

ニッケル は南部ミィナス鐵道ボンジャルディン驛近傍にて硅苦土ニッケル鑛の形狀を成し帶青色群塊及火成岩の鑛囊に發見せらる同鑛のニッケル含有量は約五十パーセントなりと云ふ又中部ミィナスより産出の鐵鑛中にも多少發見せらるゝことあり。

●本邦製鐵業の現勢

我製鐵事業は近年製品需要の減少に加ふるに生産費の依然不廉なるため常に外國品に壓せられて何れも悲境に陥り何等かの對策を講ぜねばならぬ立場にあるが今その狀勢を見ると斯業は歐洲大戰中鐵鋼相場の暴騰したのと外國品の輸入杜絶に刺戟せられて急激に發達したものであつた、め大戰終熄後需要が減退したのみならず低廉なる外國製品が自由に輸入せらるゝやうになつた、め急轉

直下的に悲況に沈淪し昨年度の如きは生産能力に對して實際の生産高は銑鐵約五割、鋼材僅に三割強に過ぎないといふ有様で操業の短縮は愚か休止するものさへ少くない、茲に昨年度に於て、我國總生産高の銑鐵は八割、鋼材はその七割以上を生産したる主要製鐵所最近の資本金と其生産能力とを示すと次の如くである。(單位、資本金百萬圓、爐筒能力、噸)

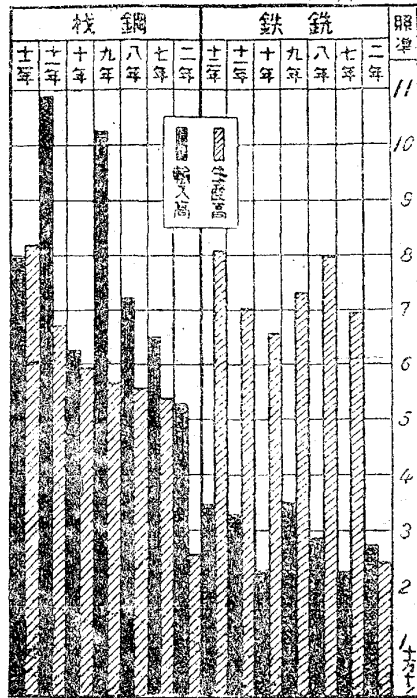
社名	拂込資本	爐數		能力	
		熔鐵	製鋼	熔鐵	製鋼
東洋製鐵	三四	二	—	四五〇	—
神戸製鐵	一二	—	—	—	七八
淺野製鐵	六	—	—	—	七五
日本鋼管	一四	—	—	—	二二五
三菱製鐵	二五	二	—	三〇〇	一五〇
釜石製鐵	二〇	九	—	五九五	一四七
日本製鐵	三〇	四	—	四二五	三二二
八幡製鐵	一六〇	六	—	一三七五	一一三〇
合計	三〇一	二三	—	七二三四五	二二二七

次に最近に於ける銑鐵及び鋼材の生産高を見るに大正二年には銑鐵二十四萬噸鋼材二十五萬噸であつたものが兩者共に逐年増加の趨勢をたどり大正六年には銑鐵は約倍額となり八年まで増加し九年からは大戰の終熄に伴ひ相場激落した、め十年まで減少したが十一年より再び増加して昨年は八十萬噸に上り新記録を作つて居る、鋼材は大正五年までの進歩は頗る鈍かつたが同六年には一躍五十一萬噸に上り銑鐵より産高を増加せしめその後は停屯の狀を呈せし所十一年以來これまた激増して昨年は銑鐵約一萬噸の増産となつて居る、これは建設中の熔鑛爐が完成して操業を開始した、めである、即ち大正二年以來の産高を比較すると次の如くである。(單位佛噸)

銑鐵及鋼材生産高比較

年	銑鐵	鋼材
大正二年	二四二、六七六	二五四、九五二
〃三年	三〇一、七二六	二八二、五一六
〃四年	三五〇、五三六	三四二、八七〇
〃五年	四四〇、九一四	三八一、二二一
〃六年	五〇一、四〇二	五一三、四四五
〃七年	六九四、八三八	五三九、六三七
〃八年	七九七、〇七五	五五七、一八五
〃九年	七三〇、〇三〇	五六三、八八〇
〃十年	六五七、二六一	五九一、八五五
〃十一年	七〇二、三三一	六七一、五〇四
〃十二年	八〇八、五三三	八一九、六九五

銑鐵及鋼材産高と輸入高比較



(説明) 本圖は銑鐵と鋼材の内地生産高と海外よりの輸入高を比較したものである。

右の如く銑鐵鋼材共に生産高を増加せるもこれのみにては到底我國の需要を充たすに足らず多額の輸入をなして居る、

即ち大正二年には銑鐵二十七萬噸餘、鋼材約五十三萬噸の輸入を見たが大正四年までは兩者共に逐年減少し大正五年以降同十年までには銑鐵は大正九年の三十五萬噸を除けば他は二十萬噸臺で各年の増減共に大なるものではなかつたが十一、十二兩年は三十萬噸を超過して九年を除く多額に上つてゐる、鋼材は稍々趣きを異にし大正六年には六十七萬噸以上の大輸入があつてその後多少増減を見たが大正九年には一躍百二萬噸の大輸入があり翌十年は大正六年以降の最少額を示したが十一年には百八萬噸に激増して新記録を作れるも昨年はその反動を受けて七十九萬噸に激減したのである、更に輸出の狀勢を見るにその數量は極めて少額であつてしかも鋼材に限られてをり最多額は大正八年の七萬六千噸で大正六年から九年までは四五萬噸その他は二三萬噸に過ぎない即ち大正二年以降の銑鐵及び鋼材の輸出入高を示せば左の通りである。(單位佛噸)

銑鐵及鋼材輸出入高比較

年	銑鐵 輸入	鋼材 輸入	銑鐵 輸出	鋼材 輸出
大正二年	二七三、三〇九	五二九、二六六	二一、〇一四	二一、〇一四
〃三年	一七二、一三七	三九五、九八八	二〇、九七三	二〇、九七三
〃四年	一七二、六八五	二三二、九二六	一八、三四三	一八、三四三
〃五年	二三七、六五五	四一六、七〇八	一四、一〇七	一四、一〇七
〃六年	二三五、〇八一	六七二、一四三	四〇、七九七	四〇、七九七
〃七年	二二六、三二一	六五〇、三四一	五八、九九八	五八、九九八
〃八年	二八六、三三〇	七二一、八三一	六九、二四六	六九、二四六
〃九年	三四九、七二三	一、〇二四、七四三	四八、三三三	四八、三三三
〃十年	二二八、二二九	六二五、六二九	三四、〇三三	三四、〇三三
〃十一年	三〇九、六〇五	一、〇八八、四四七	二九、九一四	二九、九一四
〃十二年	三四七、五二六	七九六、八四七	二八、六二九	二八、六二九

(備考) 本表中輸出には再輸出を含む
 次に相場の大勢を見ると大正六七兩年はその最も高かつた時代であるが就中七年が高く銑鐵は四百圓以上の平均相場を出した鋼材中の板は八百圓以上といふ未曾有の高相場を現出して其後相場の急落を見、次で漸落の歩調を辿り昨年の相場は銑鐵六十七圓、鋼材中の板百三十七圓といふ安價に陥つたのである、本年に入り六月までは大體安値を辿りその後略保合の状態にある、即ち銑鐵及び鋼材の各年平均相場を示せば左の通りである。(單位圓)

銑鐵及鋼材平均相場比較

年	鋼材			
	銑鐵	丸四分	角三分	平
大正二年	五〇	七六	八二	一〇一
〃三年	四九	七五	八一	七四
〃四年	五八	一四四	一四五	一四三
〃五年	八九	二一一	二二八	二二〇
〃六年	二一五	三三九	三六三	三七九
〃七年	四〇六	三九〇	四五九	四四七
〃八年	一六四	二三〇	二八三	二七二
〃九年	一三三	二一五	二五七	二五四
〃十年	七八	一三一	一七〇	一四七
〃十一年	六八	一二七	一四〇	一三一
〃十二年	六七	一三六	一五三	一四六
大正十三年	六六	一一七	一四一	一四二
〃一月	六五	一一六	一三九	一五三
〃二月	六五	一一〇	一四三	一五二
〃三月	六五	一一二	一五五	一五二
〃四月	六五	一一九	一三五	一三五
〃五月	六五	一一一	一三二	一三〇
〃六月	六五	一一一	一三二	一三〇

雜 錄

(備考) 銑鐵は釜石一號銑鐵、平は厚二分幅六分、板は厚一分、幅四尺長六尺もの、一噸當り相場である。

●印度鐵鋼業困窮

印度著名の製鐵會社タタ鐵鋼會社は骸炭爐及熔鑛爐の作業を著しく縮小し同時に鐵鑛採掘を中止した、之は鐵の賣れ行が不振で手持製品が堆積して來た結果である。之がため多數の勞働者は失職の止むなきに至つた、一方同會社は印度政府に對して外國製鐵の輸入に關稅を賦課されたい旨請願して居る、之は最近印度爲替が昂騰したのと白耳義製鋼鐵の暴落とを理由として鋼鐵生産獎勵法に基き代價稅を外國品に賦課して貰ひ度いと言ふのである、關稅調査委員會は近く委員を孟買に派遣して右請願につき調査する筈である。